



The Masters of  
Sekisyu-Kawara

WABI46 (石州J型46)

# 石州新防災テクノロジー瓦 **WABI46**

**46枚の魅力とパワー  
石州が誇る優れものです。**

超緩勾配、雨仕舞い、耐震耐風、軽量化への新工夫

100年瓦・石州

石央瓦販売株式会社



# より強く・より軽く・より大きく

## 石州新防災テクノロジー瓦

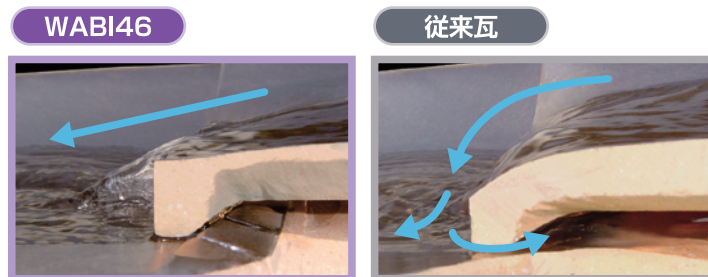
# WABI46の魅力です。

目指したのは高い防災性能と軽量化への道。そして景観への配慮です。

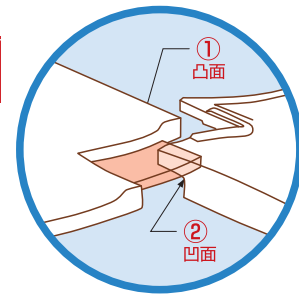
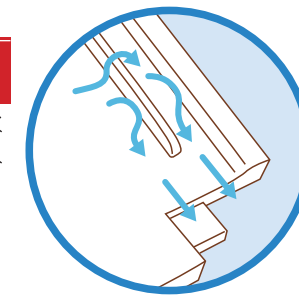
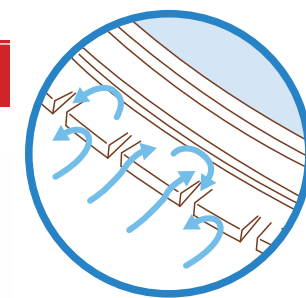


「切り落とし形状」だと、瓦のエッジが見えて陰影がハッキリするので、葺き上がりに風格がでて、美しく見えます。

**□ エッジを立てた「切り落とし形状」!**  
「切り落とし形状」だから、水が前に跳びだしていき、排水がスムーズに!!



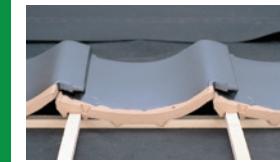
(流水試験)



地震・台風に強化施工!

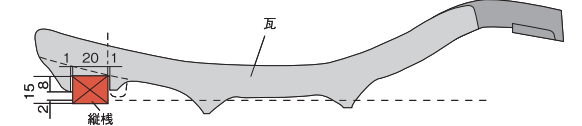
## ガッチリくんモード

縦棧工法とは

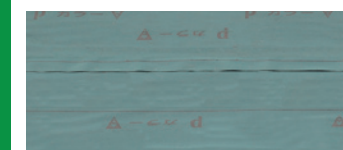


WABI46は、標準装備の防災瓦(瓦同士の組合せ)機能の他に、縦棧工法という独特の施工システムを導入することで、防災力を大幅にアップさせるオプションも用意しています。わたし達は、このオプションを、縦棧工法「ガッチリくんモード」と呼んでいます。

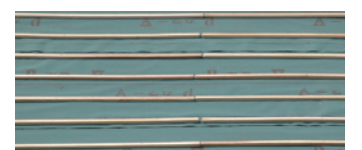
- タテとヨコの棧木で瓦をクロスロック!
- だから、瓦がズレない、落ちない、動かない!
- タテ・ヨコの仕上がりがラインが美しい!



工法の手順



**1 下地ルーフィング貼り**  
野地板に防水用のルーフィングを貼っていきます。



**2 横棧木の施工**  
ここまでは従来工法です。



**3 縦棧木の施工**  
横棧木の上に縦棧木を固定します。



**4 縦棧瓦の施工**  
瓦に施したミゾに縦棧木を埋めるようにあてがい、同時に横棧木に引っ掛け、縦横のバランスをとります。最後は釘で瓦を横棧木に留め付けます。

## 新築屋根からリフォームまでお任せください!



「WABI46」なら丈夫で長持ち、安心安全な住まいに生まれ変わります。

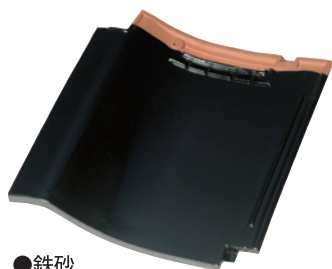
高級感

防災性

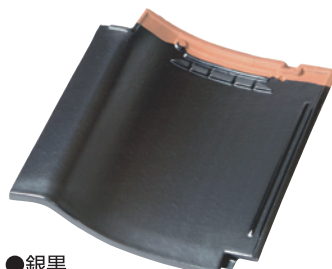
耐久性

景観性

## カラーバリエーション



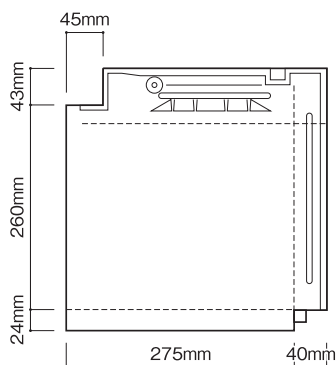
●鐵砂



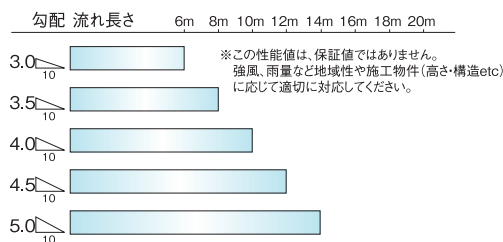
●銀黒

## 製品仕様

※写真は印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。

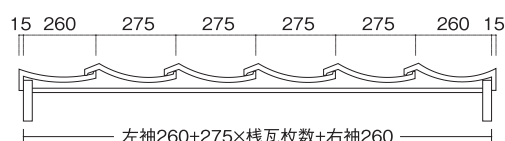


### ●標準屋根勾配と流れ長さ



WABI46は、緩勾配屋根に適應する性能を持っていますが、  
**3寸**などの緩勾配施工の場合は屋根下地の施工内容を充分吟味してください。  
 (例)ルーフィングの2重張り、流し桧木の活用等

## ●桁行き方向

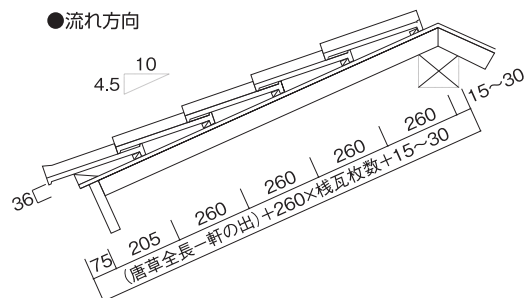


|      |                            |             |
|------|----------------------------|-------------|
| 寸 法  | 全長327mm(±4mm)全幅315mm(±4mm) |             |
| 働き寸法 | 長 さ                        | 260mm(±4mm) |
|      | 幅                          | 275mm(±4mm) |
| 葎き枚数 | 13.9枚/㎡・46枚/坪              |             |
| 重 量  | 3.05kg/枚・42kg/㎡・140kg/坪    |             |

## ●物性概要

| 項 目     | 社 内 規 格                                    | J I S 規 格  |
|---------|--------------------------------------------|------------|
| 曲げ破壊強度  | 1960N以上(200kgf以上)                          | 1500N以上    |
| 吸 水 率   | 8%以下                                       | 12%以下      |
| 凍 害 試 験 | ひび割れ、剝離の異常なし                               | 凍結融解25回繰返し |
| 耐風性能試験  | 3600N/m <sup>2</sup> (瓦屋根標準設計・施工ガイドラインのもと) |            |

## ●流れ方向



※屋根の流れ寸法＝軒瓦の全長－軒瓦の出＋(260mm×棧瓦の枚数)＋15～30  
流れ寸法は、利き足の倍数を基準に割り付けてください。

 安全に関するご注意

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要ですので、専門工事業業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。そのような地域で粘土瓦を使用する場合には、専門工事業業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業業者にご相談ください。

## 粘土瓦の特性について

瓦は天然の粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により成分・性質が微妙に異なるので、科学的な管理が難しい製品です。日本の瓦は約1000年以上前から作られてきましたが、製造・焼成技術が飛躍的に進歩して大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然原料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらがひてご了承ください。

- 粘土成分の違いや気圧などの気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生する場合があります。
- 焼きもの特有の若干のネジヤや寸法のバラツキにより瓦と瓦の間に隙間が発生する場合があります。
- 施工後、日焼けによる色あせやホコリなどの付着により色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- 貫入（かんにゅう）と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは陶器製品特有の釉薬表面層に起こる亀裂であり、本体生地まで及ぶものではない品質の劣化を伴うものではありません。
- 釉薬面にピンホールと呼ばれる小さい凹みや粘土素地の露出が発生する場合がありますが、これは釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するもので、屋根材としての品質上の問題は一切ありません。
- いぶし色の釉薬は表面が艶消し状でホコリや油・ゴミ等の異物が付着しやすく汚れが目立つ場合がありますので、棟や壁などの施工の際はセメント・コーキング剤・ペンキ・鉄粉等が付着しないよう注意が必要です。
- 製品は改良のため予告なく変更することがあります。
- 製品カタログ等の色調は、印刷のため実際の色と多少異なる場合があります。



100年瓦·石州

石央瓦販売株式会社

本社

〒695-0024 島根県江津市二宮町神主1820番地5  
TEL (0855) 53-0521 FAX (0855) 53-3935

益田支店

〒699-5133 島根県益田市神田町イ627番地1  
TEL (0856) 31-5115 FAX (0856) 25-2100

福井営業所

〒918-8016 福井県福井市江端町5番地11  
TEL (0776) 34-8613 FAX (0776) 34-8614